

令和2年度社会資源見学ツアー 北区コース



ドリームカレッジ (生活訓練)

座学、パソコンの授業等の就労での実践的な訓練はもちろん、美術や音楽等を取り入れ、学べる場と同時に楽しく過ごせる環境が整っていました。

音楽では、平成30年障害者芸術文化祭の音楽発表部門で県知事賞を受賞したことがあります。

座学ではビジネスマナーやSSTなど就労に向けた支援と同時にその職場で定着できるよう見据えてプログラムが組まれていました。

資格検定もしており、MOS試験やパソコンスピード検定に合格している利用者さんもいるとのことでした。

ドリームカレッジさんのプログラムを真剣な眼差しで取り組んでいる利用者さん。そしてその概要を説明してくださった職員さんの利用者さんに対する思い、熱意を感じました。

新潟市役所本館1階市民ロビーにて、今年1月に作品が展示されたそうです。色とりどりで、目で見ても楽しい作品でした😊



1日50分×4コマで授業を行っており、座学や体育など様々な活動をしています。

音楽や美術などのクラブ活動も行っており、卒業生もクラブ活動に参加することができます。文化祭に出店したり、市役所のロビーに飾ったりしています。

法人全体としては「就労」に力を入れているため、どのような事業所でも就労という視点を持ちながら取り組んでいます。



障がい者就労支援センタードリーム (就労移行・定着支援事業)

働くことを念頭に、資格取得やスキルアップのために職業訓練をしています。新潟県職場実習制度を利用し、企業実習をされている方も多くいらっしゃいます。施設内には、パソコンのタイピング練習などができる事務訓練室の他に製麺室もあり、そちらでは中華麺、うどんの麺を製造されていました。どこに就職しても対応できるよう、様々なプログラムがありました。



パソコン訓練室

ドリームネクスト (就労継続支援A型)

水耕栽培で小松菜やニンジン、畑の管理でネギやさつま芋を栽培しており、知識や能力の向上を図るため、様々な事業に取り組んでいました。



畑仕事はメンバーさんたちの中でも人気のある仕事だそうです。幼稚園児さんたちが芋ほり体験をするために来ることもあるそうです。



水耕栽培で収穫された小松菜は、スーパーのチャレンジャーなどで販売されているそうです。ニンジンの栽培もされていました。また、外の畑ではブロッコリーの栽培にも取り組まれていました。





今回、製麺工房ドリーム本店さんでは、曾我トマトと炙りチャーシューのラーメンを頼ってみました。

炙ってあるチャーシューの香ばしい香りで食欲を増し、そして曾我トマトが自慢のスープに溶け込み、甘みと酸味が合わさることにより旨味がすごい！とても美味しかったです。

最後に店員さんが進めてくれた食べ方でライスを頼んで、残りのスープをかけ、粉チーズをかけて食べたらこれもまた美味しい！



曾我トマトと炙りチャーシューのラーメンは、普通のラーメンとは少し違ったパスタに近いようなラーメンでした。濃厚な深い味わいで、最後までスープを飲み干したくなるような美味しさでした。

平日のランチタイムはライスが無料で食べられるとのこと。いっぱい食べる人はぜひ通常サイズのライスを、少食だと思いう方も半ライスを頼んでリゾットにしてお試しを！ぺろりといけますよ。

もちろんそれ以外のラーメンも美味しいので、多くの人に食べてもらいたいです。



テイクアクトビティセンターはろはろ (就労継続支援B型)

就労や社会復帰、居場所など、様々な目的を持った方が利用されています。

以前は、お菓子の箱詰め作業等をしていたのですが、このコロナ禍でそのような業務は減ってきている様子でした。

しかし、その中でも布マスクの作成、販売をしたり、はろはろで作ったシフォンケーキの販売をしたりと、地域の方と交流しながら元気に活動しているとのことでした。

ケーキやマフィンには正麺工房ドリームさんのレジ横にて販売されており、そこで購入できます。

ちなみに取材班では、はろはろさんで作っている抹茶のシフォンケーキ（正麺工房ドリームさんで購入）をいただきました。ふわふわの触感で、甘さを控えた生地で食べやすく、とても美味しかったです。コーヒーや紅茶、牛乳にも合いそうです。いくらでも食べられそうです。

また、トマトマフィンとチョコナッツマフィンも購入させていただきました。

トマトマフィンは甘酸っぱいフルティカルトマトをセミドライにし、ローストしたベーコンと一緒に焼き上げた大満足な一品でした。

チョコナッツマフィンはローストしたクルミとカシューナッツのザクザクした食感と、ほろ苦く甘いチョコレートが絶妙な味わいの最高な一品でした。

グループホーム エピソードⅠ（外部サービス型グループホーム）

平成29年に開設された、ワンルームアパートタイプのグループホームでした。建設されてまだ数年しか経っていないので、とても綺麗で清潔感もあり、「こんなアパートに住んでみたい」と感じさせられるグループホームでした。

アパート型であるため、部屋に家族や友達が泊まりにくることもあるそうです。門限はなく、全て自己責任・自己管理で生活を送ります。

自由度が高く、自分らしい生活を送ることができるような場所でした。



共同スペースのシステムキッチンでは食洗器も完備されており、ここで世話人さんが管理栄養士のレシピで朝晩の食事を作ってくれるそうです。

共同生活室にはホワイトボードがあり、ここに食事メニュー表や連絡事項などが掲示されていました。世話人さんは5人おり、交代で朝晩に来てくれます。



ドリームプラス（生活介護）

全体的に若い方が通所されていて、箱折りやビニル袋の消毒、創作活動、農作物の収穫・納品など、その方にあった活動を提供されていました。職員の方の対応もとても丁寧で、利用者の方が笑顔になられていたのが印象的でした。

利用者それぞれの特性などによって、仕切りを設けたり一人になれるスペースを確保したりするなど、作業場所の工夫がされていました。利用者みなさんは支援員の方と楽しく作業をしているように見えました。

グループホーム エピソードⅡ・Ⅲ（包括型グループホーム）

エピソードⅠのグループホームとは少し異なり、日常生活の援助ができるようなバリアフリーの設計になっていました。

その為、廊下も広く、光も入り、施設内全体が開放的な印象を受けました。

らららドリーム（放課後等デイサービス）

創作活動、学習支援、音楽活動等々楽しく過ごせるように、様々な活動をしています。18歳までの方が利用されているということで、職員さんも利用者さんとても元気で楽しく活動されていました。